

# 2011(平成23)年度 第一期 事業計画書

- 今期は会計年度変更に伴う移行期のため、本計画は2011年1月1日から4月30日の4ヶ月間を対象としています。
- 税務報告上、12ヶ月を超える事業年度の設定は認められていないため、総会及び税務上は以下のように会計年度を区切ります。
  - 1) 2010年1月1日～2010年12月31日
  - 2) 2011年1月1日～2011年 4月30日(全4ヶ月)
  - 3) 2011年5月1日～2012年 4月30日 \*これ以降は12ヶ月毎
- ただし所轄官庁の指示により、NPO法に基づく報告は、以下のように会計年度を区切ります。
  - ① 2010年1月1日～2010年12月30日
  - ② 2011年1月1日～2012年4月30日(全16ヶ月) \*これ以降は12ヶ月毎
- そのため、所轄官庁への報告②は、上記2)と3)の計画に対応する事業報告をまとめたものを提出させていただきます。

認定NPO法人 アジア日本相互交流センター

INTERNATIONAL CHILDREN'S  
ACTION NETWORK

*Not "for" the People, but 'with' the People*

アイキャン概要

<p>私たちが解決したい課題</p>	<p>現在に至っても、紛争や「貧困」などの暴力に脅かされ、可能性を開花することができない状況に置かれている子どもたちが世界中にいます。特に紛争地の子どもたちやごみ処分場の子どもたち、先住民族の子どもたち、路上の子どもたち、薬物依存の子どもたち、海外出稼ぎ労働者の子どもたちなど「危機的状況に置かれている子どもたち」は、社会の中でも阻害され、享受すべき権利も守られておらず、劣悪な環境に置かれています。</p>	<p>世界の中には、様々な課題に対して、そして平和な社会を創るにあたって、市民一人一人が行動を望んでいても、それを阻む様々な要因があります。人々が地域に根差して地球規模の課題に取り組むことができるスペースは、依然として限られています。</p>
<p>私たちが目指す理想の社会</p>	<p>子どもたちが紛争や「貧困」などの暴力に脅かされることのない社会</p>	<p>社会問題の解決、理想の社会に向けて、行動する人や団体、地域で溢れる社会</p>
<p>アイキャンの活動目的</p>	<p>「『できること』を実践する人(=アイキャンな人)」を増やし、その一人ひとりの「できること」を持ち寄ることによって、世界中の子どもたちが享受できる平和な社会を築くこと。</p>	
<p>アイキャンの2011年活動</p>	<p>I、「危機的状態にある子どもたちと「ともに」行うプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1、ジェネラルサントスの子どもたち</li> <li>2、紛争の影響を受けた子どもたち</li> <li>3、路上の子どもたち</li> <li>4、先住民族ドゥマガットの子もたち</li> <li>5、先住民族ブラアンの子もたち</li> <li>6、ごみ処分場周辺に住む子どもたち</li> <li>7、災害の影響を受けた子どもたち</li> <li>8、外国にルーツを持つ在日の子どもたち</li> <li>9、子どもの参加を促進する事業</li> </ul>	<p>II、「できること(ICAN)」を増やすプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1、国際理解教育事業</li> <li>2、スタディツアー・研修事業</li> <li>3、フェアトレード販売事業</li> <li>4、フェアトレード啓発事業</li> <li>5、外務省NGO相談員</li> <li>6、外務省インターンプログラム</li> </ul>
<p>アイキャンの2011年運営体制</p>	<p>組織体制</p> <pre> graph TD     GM[総会(会員約500名)] --- BO[理事会(理事8名)]     BO --- IA[内部監査(監事2名)]     BO --- ED[事務局長]     ED --- JO[日本事務局]     ED --- MO[マニラ事務所]     MO --- MFO[ミンダナオ第一事務所]     MO --- M2FO[ミンダナオ第二事務所]     GM -.-&gt; D[寄付者、協力者、ボランティア]     MO -.-&gt; EA[外部監査]     </pre> <p>有給職員30～35名</p>	
<p>2011年に関わる重要な事項</p>	<p>1、2011年4月1日(金)より、日本事務局が移転します。          旧住所:愛知県名古屋市中村区松原町1丁目24番地 COMBi 本陣 N103          新住所:愛知家名古屋市中区大須3丁目5-4矢場町パークビル9階</p> <p>2、2010年の総会で決議された通り、今期、会計年度が変更となります。          旧会計年度:1月1日から12月31日 *2010年12月31日終了          移行期間会計年度:1月1日から4月30日 *本計画書は、この4ヶ月に該当します。          新会計年度:5月1日から4月30日 *2011年5月1日開始</p> <p>*所轄官庁の指示により、総会と税務署報告は、上記の通り3期に分けて、所轄官庁への報告は2011年度の2期(2011年1～4月、2011年5月～2012年4月)を合せて、16ヶ月の報告を行います。</p>	

## I、危機的状況にある子ども達と「ともに」おこなうプログラム

### 1、ジェネラルサントスの子どもたち

#### 今期の注目

- 異文化理解教材が市内の全小学校に配布されます。

これによって



市内の先住民族に対する子どもの理解を促進します。

#### (1) 事業背景と概要

ミンダナオ島の南部に位置するジェネラルサントス市は、人口41万人、世帯数9万の地方都市です。ツナやパイナップル等の魚産物・農産物が豊かに収穫できますが、大農場や工場を持つ一握りの資本家への富の集中が顕著で、多くの人びとが最低限の生活状況の中にいます。毎年のように市内で無差別爆破事件が起こり、治安情勢も不安定です。また、ある場所では青少年の8割にまで薬物汚染が広がるなど、その被害も深刻です。アイキャンは、現在までに約150名の通学支援や相互理解を促進する活動を実施しました。今年子どもたちの学用品の提供を継続するとともに、昨年作成した異文化理解教材を市内全小学校に配布します。

#### (2) 実施事務所

ミンダナオ第一事務所(ジェネラルサントス市)

#### (3) 事業のパートナー

ミンダナオ島ジェネラルサントスの54名の子ども(小学生1名、高校生50名、大学生3名)

#### (4) 活動

##### 1) 教育支援

通学に必要な制服、学用品、鞆、靴の支給、及び学費、通学交通費、プロジェクト費、卒業経費等を補助します。

##### 2) 緊急支援

子どもが病気や怪我をした場合、また保護者が亡くなった場合の諸費用を提供します。

##### 3) 相互理解促進平和活動

異民族理解研修を通して作成した漫画平和教材を市内全小学校に提供し、多民族間の相互理解を促進します。

4) 「子ども集会」(子どもや保護者と事業を振り返り、計画を話し合う場)、「子ども表彰式」(意欲的な子どもを表彰)

##### 5) モニタリング

スタッフによる家庭・学校訪問により、一人ひとりの子どもが抱えている問題の解決に取り組めます。

### 2、紛争の影響を受けた子どもたち

#### 今期の注目

- 来季から始まる3年中期計画の実施準備を進めます。

これによって



来季の大規模事業開始をスムーズにします。

#### (1) 事業背景と概要

ミンダナオ島北コタバト州ピキット周辺では、長年続いてきた紛争の影響で約60%の住民が住みなれた土地を追われ、学校等社会インフラが荒廃し、人々の生活基盤が崩壊しました。これに加え、2008年の武力衝突では60万人の避難民も発生し、2009年も治安が不安定な状態が続いています。アイキャンは、子どもたちが再び学校に通えるように、壊れた校舎の修復や学校設備の充実、そして地域平和活動等の教育事業を実施するとともに、ミンダナオの平和を祈るイベントを実施します。そのため、今期は、来季から始まる大規模事業の実施準備と体制強化を進めます。

#### (2) 実施事務所

ミンダナオ第二事務所(キダパワン市)

#### (3) 事業のパートナー

ミンダナオ島紛争地の学校、及び子どもたち

#### (4) 活動

##### 1) 実施準備と体制強化

教育と平和を促進する大規模な3年間の事業が2011年5月に開始となるにあたり、専門スタッフの更なるリクルート、事務所移転、資金調達、関係者間での調整を行います。

##### 2) モニタリング

これまで建設した学校の様子や、平和活動に参加した子どもたちのモニタリングを、ミンダナオ第二事務所スタッフが実施します。

### 3、路上の子どもたち

#### 今期の注目

- 5年中期計画の事業が4月に開始となります。

これによって



マニラ各地の路上の子どもたちの生活向上を目指します。

#### (1) 事業背景と概要

フィリピンでは約25万人の子どもたちが様々な理由で路上での生活を余儀なくされており、多くの子どもたちは路上での物乞いや、物売り、性産業等により生きる糧を得て、命の危険と隣り合わせの生活を送っています。その中には、空腹を満たすためにシンナーを吸引している子どもや、生き残るためにギャングの一員となって罪を犯してしまう子どもたちもいます。アイキャンは、このような路上での苛酷な環境での生活を強いられている子どもたちが一人でも多く愛情あふれる環境で生活し、通学できるように、首都マニラ6ヶ所での路上活動をさらに活性化します。

#### (2) 実施事務所

マニラ事務所

#### (3) 事業のパートナー

マニラの路上にいる子ども300名と親50名、「子どもの家」にいる路上生活をしていた子ども4名

#### (4) 活動

##### 1) 路上カウンセリング

ソーシャルワーカーによるカウンセリングや肉親探し、保護施設紹介を実施します。

##### 2) 教育活動

###### ● 路上教育

子どもの権利教育や路上芸術活動等を実施します。

###### ● 識字等路上基礎教育活動

子どもたちに読み書きや計算等を教えます。

###### ● 学用品等の提供

通学を希望する子どもたちに学用品・制服・学校諸費、課外活動諸費、養育にかかる費用等を支給します。

##### 3) 路上保健医療活動

###### ● 医療活動 医師による診察や治療を実施します。

###### ● 栄養改善活動 栄養価の高い食事を提供します。

###### ● 路上保健活動 プライマリヘルスケアや感染症対策、反薬物教育等の保健教育を実施するとともに、シャワーや衣服の提供を行います。

##### 4) 職業訓練 年長者や親の収入向上活動を行います。

### 4、先住民族ドゥマガットの子どもたち

#### 今期の注目

- 最後の奨学生が高校を卒業します。

これによって、



地区のほぼ全ての家庭の子の通学が達成されます。

#### (1) 事業背景と概要

リサール州アンティポロ市にあるサンシロ村には、先住民族(ドゥマガット)の血をひく人々が多く住んでいます。人々は主に焼畑や稲作などの農業で生計をたてていますが、雨季になると地理的に孤立してしまうなど、通学が困難な状況に置かれてきました。現在までに、サンシロ村リビス地区のほぼ全ての家庭において通学支援を実施し、農業等の研修、植林、住民の組織化、そしてその住民組織とNGOや行政とのネットワークを構築してきました。この結果、今では村の人が空腹に襲われることもなくなり、また以前は孤立していた村の人たちが、村の「課題」を住民組織を通じて自分たちで解決したり、地方行政とともに解決していけるようになってきました。このような背景から、アイキャンは今期、最後の奨学生の卒業を見届け、住民がアイキャンの存在がなくても課題を自分たちで解決していけるように、2011年4月のアイキャンからの「卒業」を目指します。

#### (2) 実施事務所

マニラ事務所

#### (3) 事業のパートナー

アンティポロ市サンシロに住む先住民族の子ども1名、農業系住民組織(MASAKA)

#### (4) 活動

##### 1) 卒業式経費補助

奨学生に、必要に応じて卒業手続き費用を提供します。

##### 2) モニタリング

子どもと保護者、村の人々、教師とのミーティングを、集落や高校、アンティポロ市内にて行うとともに、家庭訪問を行います。

## 5、先住民族ブラアンの子どもたち

### 今期の注目

- 来季から始まる3年中期計画の実施準備を進めます。  
これによって   
来季の大規模事業開始をスムーズにします。

#### (1) 事業背景と概要

ミンダナオ島ジェネラルサントス郊外の村に住む先住民族ブラアンは、独自の文化・慣習を持ち、主に畑作や炭焼きなどを生業として、山岳地帯に住んでいる先住民族です。人々は、1970年代以降、深刻化してきた不法伐採や入植者による土地収奪により生活が脅かされており、農耕や採取を基盤とした自給自足の生活が成り立たなくなった今、食にこと欠く家族も多いのが現状です。子どもたちの多くは空腹により通学意欲を失い、卒業まで通学できる子は一握りにすぎません。学校から遠ざかった子どもたちは、親とともに農業に従事したり、村を出て市内中心部で法外な低賃金を稼ぎながら、苦しい家計を助けます。このような状況に対して、アイキャンは引き続きブラアン族の生活向上を目的とする地域開発を行います。

#### (2) 実施事務所

ミンダナオ第一事務所(ジェネラルサントス市)

#### (3) 事業のパートナー

ミンダナオ島ジェネラルサントス郊外の先住民族ブラアン族の子どもたちが通う10校の小学校・高校とその地域の保護者。

#### (4) 活動

##### 1) 生徒会・児童会強化

10つの高校・小学校で生徒会・児童会を強化します。

##### 2) 教員研修、PTA強化研修

10校にて先住民族理解を深めるため教員研修を行い、またPTAが水利組織として適切に機能するよう強化します。

##### 3) 保健教育

地域の保健師を育成します。

##### 4) 生計向上活動

ブラアンの人々50名の収入向上活動を行います。

##### 5) 学校給食


5校にてそれぞれ150人の生徒に給食を提供します。

##### 6) 実施準備と体制強化

教育と平和を促進する大規模な3年間の事業が2011年6月に開始となるにあたり、専門スタッフの更なるリクルート、資金調達、関係者間での調整を行います。

## 6、ごみ処分場周辺に住む子どもたち

### 今期の注目

- 青年たちを保健アドボケイターとして訓練します。  
これによって、   
地域保健環境を向上させるシステム作りをすすめます。

#### (1) 事業背景と概要

マニラ首都圏ケソン市郊外にあるパヤタス地区には、フィリピン最大のごみ処分場があり、周辺には約1万人が生活しています。ごみ処分場でリサイクルできる資源を回収し販売することで生計をたてようとしている人が約3,000人いますが、その収入は法定最低賃金の1/3程度しかなく、必要最低限の暮らしを保つのも困難な状態です。また、劣悪な生活環境によって、住民は様々な健康被害を受けていますが、十分な保健サービスにアクセスできないでいました。これに対してアイキャンは、地域の協同組合を育成し、2010年に主な事業を移行しました。現在は、協同組合PICOが診療、預り保育などの活動を実施し、アイキャンはそのモニタリングを行っています。

2011年は、さらにこのPICOの組織強化をすすめ、また青年たちの育成に注力します。

#### (2) 実施事務所

マニラ事務所

#### (3) 事業のパートナー

パヤタスB第2地区を中心に、ごみ処分場周辺に住む約5000名の人々、協同組合PICO

#### (4) 活動

##### 1) 保健活動

青年たちの保健教育をはじめます。

##### 2) 協同組合強化

事業主体となった協同組合が運営能力をさらに高めるために、訓練を行います。

##### 3) 技術訓練促進

青年たちが技術訓練に参加し、新たな収入の道の獲得を促進します。今期は新学期にむけてスクリーニングを開始します。

## 7、災害の影響を受けた子どもたち

### 今期の注目

- 再定住地の被災者たちが、自らの組織を作ります。  
これによって   
事業終了後も活動が持続可能となります。

### (1) 事業背景と概要

フィリピンは世界の中でも有数の災害被害国です。災害時には社会的弱者がもっともその影響を受け、特に子どもや高齢者が命を落とし、低所得層が生計を失ってしまいます。これに対し、フィリピンで活動する日本のNGOの中で、最大規模の人員と3つの事務所を持つアイキャンは、既存のフィリピンのNGOや行政との関係を最大限活かし、いち早く被災地のニーズに応える緊急支援と中長期的視点に立った復興活動を行います。

特に2009年は、9月末に台風オンドイによる連日の大雨のために、マニラ首都圏とその周辺地域で大洪水が発生したことを受け、緊急活動を行いました。さらに2010年はこの被災者の再定住地先で、デイケア施設整備、保健教育、技術訓練の活動を行ってきました。2011年は、事業終了を見越して、再定住地の住民たちの組織化を行います。

### (2) 実施事務所

マニラ事務所

### (3) 事業のパートナー

2009年マニラ台風災害被災者のうち、アンティポロ市スミラン地区にできた再定住地の子どもと大人

### (4) 活動

#### 1) デイケア(保育所)活動

前年度から改修をはじめたデイケアを完成させ、6月の新学期へ向けてスタートできるよう、関係者と調整します。

#### 2) 保健リーダーの育成

前年度に育成した地域の保健リーダーたちの働きが、より活性化し持続可能となるように、モニタリングや調整を行います。

#### 3)あみぐるみ技術訓練


訓練参加者たちの製品の質を高めるよう指導しつつ、参加者たちの組織化を行います。

#### 4) ネットワーキング

再定住地スミランにおいて、フィリピンのNGO、市や州の行政機関とのネットワーキングを強めます。

## 8、外国にルーツを持つ子どもたち

### 今期の注目

- 1年間の学びを詰めた報告書を作成します。  
これによって   
子どもたちの状況をより多くの人に知ってもらいます。

### (1) 事業背景と概要

愛知県内の外国人登録者数は東京に次ぐ2位となり、過去最高記録を更新しています。また、それに加え、登録していない、日本国籍を持ちつつも日本以外にルーツを持つ子どもたちはその何倍とも言われています。外国にルーツを持つ子どもたちの多くは、小学校高学年から中学校にかけて本人の日本語力と学業上必要な日本語力の間に顕著な差ができれば、これが「学力」として現れます。この結果、子どもたちの中には進学を諦めざるを得ず、複合結果として、母親を見下し、責めることにより家庭の崩壊が起こったり、子どものアイデンティティ障がいが発生させるケースも多くあります。

アイキャンは日本と海外の教育の知識と経験を活かし、愛知県を中心とする日本にいる外国にルーツを持つ子どもたちの教育環境を向上させることによって、子どもたちが力をつけ、また周囲の理解を受けられるように活動します。

### (2) 実施事務所

日本事務局

### (3) 事業のパートナー

外国にルーツを持つ子どもたち

### (4) 活動

#### 1) 調査や提言、啓発活動

外国にルーツを持つ子どもたちが置かれている状況を調査・製本し、政策への提言や啓発活動を行います。

#### 2) 教育促進活動

学校が保護者宛に発行するプリンや地域の回覧板等を、全国のアイキャン翻訳ボランティアが多言語で翻訳することで、外国にルーツを持つ子どもたちの親が、子どもの教育に携われるようにします。これにより、子どもたちが勉強に集中できる体制を築きます。

#### 3)報告書作成

1年間の学びを報告書にまとめ、4月に多くの方々と共有します。

## 9、子どもの参加を促進する事業

### 今期の注目

- 前年の「子ども議会」のアクションプランを実行します。

これによって、



子どもの社会参加を促進します。

#### (1) 事業背景と概要

アイキャンは約15年間フィリピンにおいて子どもたちの保健や教育、そして親たちの収入を増やす活動を行ってきました。その中で、なぜ子どもたちが現在も危機的な状態に置かれているのかと考えたとき、社会に欠如しているのは、「子どもたちの声」であると考えようになりました。子どもたちは夢をみる力も、夢をかなえる力も持っています。様々な課題を自分たちで解決していく力も持っています。この事業が目指すものは、まず「危機的状況にある子どもたち」自身が自分たちの置かれている現状を声に出し、他の境遇にある子どもたちと共有すること。そして、自らの活動計画をつくり、子どもたち自身が社会を変えていく活動を応援します。

#### (2) 実施事務所

マニラ事務所、ミンダナオ第一、第二各事務所

#### (3) 事業のパートナー

路上の子どもたち、紛争地の子どもたち、先住民族の子どもたち、身体的障がいを持った子どもたち、親が海外出稼ぎ労働者の子どもたち等「危機的状況にある子どもたち」

#### (4) 活動

##### 1) アクションプランの実行

前回の子ども議会の参加者である「危機的状況にある子どもたち」が、「できること」として考えた自らの計画を実行に移します。

##### 2) フィリピン国レベルの子どもの参加促進

NGO、政府機関、国連機関と連携し、フィリピンの国レベルで「子どもの参加」を促進します。

## II、「できること」を増やすプログラム

### 1、国際理解教育(開発教育)事業

### 今期の注目

- 学校での授業を活性化します。

これによって、



社会の課題解決に行動する子どもを増やしていきます。

#### (1) 事業背景と概要

幅広い事業を行うアイキャンの特性を活かし、日本に住む人々とフィリピンに住む人々の経験をお互いに共有することによって、社会の中で弱い立場に置かれた人々の「現実」に基づいて社会問題を理解し、「自分の問題」として「ともに」解決に向けて様々な立場で主体的に取り組むことができる人材を育成します。また、今年は書き損じハガキの募集や募金活動、ボランティアのグループ化を行い、主体的な「行動」を活性化させていきます。

#### (2) 実施事務所

日本事務局、マニラ事務所

#### (3) 事業のパートナー

一般市民5,000人

#### (4) 活動

##### 1) 学校での授業・講義

フィリピン各地の事業地の経験をもとに、小学校から大学で参加型ワークショップ形式の授業をおこなうとともに、参加者が一歩踏み出せるように活動を提案します。企業との連携も継続します。

##### 2) 事務所訪問受け入れ

小中高生の課外学習や大学生・一般の方の訪問を受け入れ、事務所にて活動紹介を実施するとともに、参加者が一歩踏み出せるように活動を提案します。

##### 3) 寄付を通じた交流促進

文具や折り紙の寄付をフィリピンに届け、それを活用した活動の様子、子どもたちの声を日本に届けることで両国の交流をはかります。

##### 4) 1日事業地体験

フィリピン滞在の日本人を対象として、1日事業地で、事業の背景や活動に参加する機会を作り、社会の抱える問題への理解を促進させます。

## 2、スタディツアー：研修事業

### 今期の注目

今期、実施予定はありません。

### (1) 事業背景と概要

現在、世界では南の国と北の国との間に大きな経済格差があり、その解決に多くの国や諸機関が取り組んでいますが、その格差は広がる一方で、より多くの人々による解決に向けてのコミットメントが求められています。アイキャンでは、フィリピンの現状から、困窮の中にある人々の苦闘を日本の人々に伝え、同時にアイキャンの活動を広く知ってもらい、また開発に関心のある人々に学びの場を提供し、ともによりよい社会作りを担う人材を育成することを目的として、社会開発研修やスタディツアーを行い、事業地の益と、参加者の益と、アイキャン事業の益とを満たすことのできる3者がWIN-WINとなるプログラム内容を提供しています。

### (2) 実施事務所

マニラ事務所

### (3) 事業のパートナー

日本の学生、一般市民

### (4) 活動

今期(1月～4月)は実施予定がありません。

## 3、フェアトレード販売事業

### 今期の注目

- 生産者グループの製品の質向上に取り組みます。

これによって、



アイキャンフェアトレードの販売を強化します。

### (1) 事業背景と概要

アイキャンのパヤタスごみ処分場での生計向上事業から2005年に独立した女性フェアトレード団体(SPNP:パヤタスの生計向上のためにがんばる母親達)をはじめとする生産者団体の運営を支え、生産者のエンパワメントと収入向上を目的として、実施します。前年は、既存の生産者やフェアトレードショップとのネットワークをさらに強化し、新規の生産者団体発掘や育成を努めました。今期は、生産者の製品の質の向上に取り組みます。

### (2) 実施事務所

日本事務局、マニラ事務所、ミンダナオ各事務所

### (3) 事業のパートナー

フィリピンの生産者団体、及び日本の一般市民

### (4) 活動

#### 1) SPNPの団体運営支援

SPNPの団体運営をアドバイザー役として支えています。

#### 2) SPNPや他のフェアトレード製品の開発と仕入れ

SPNPの新商品の開発に取り組みます。また注文に基づいて、SPNPや他団体のフェアトレード製品を仕入れ、日本に運搬します。

#### 3) 販売

日本とフィリピンでイベントや学校祭、事務所、ホームページ、またフェアトレードショップ等を通じて販売します。フェアトレード製品を通して、生産者の置かれた環境を伝え、社会の中で弱い立場に置かれた人々の「現実」に基づいて、社会問題を理解し、「自分の問題」として「ともに」解決に向けて様々な立場で主体的に取り組むことができる人材を育成します。



#### 4、フェアトレード啓発事業

##### 今期の注目

- 生産者情報を日本に繋げていきます。

これによって、



生産者の顔が見えやすいフェアトレードを目指します。

##### (1) 事業背景と概要

「お買い物」を通じて、平和な社会の構築を目指すフェアトレード(公正な貿易)運動の広がりは、日本全体では盛り上がりを見せつつも、東海地域においては依然として限られています。その為、市民は世界中から届いた商品に囲まれて生活を送りつつも、「南」の生産者の声は届かず、「南」「北」の経済格差が固定化されてしまっています。このような状態に個別に対応するのは限界があり、地域のフェアトレード関係者や有志が一丸となって、東海地域のフェアトレードを取り巻く環境を変えていく必要があります。

##### (2) 実施事務所

日本事務局

##### (3) 事業のパートナー

東海地域のフェアトレード関係者

##### (4) 活動

###### 1) 「東海フェアトレードフォーラム」の開催

東海地域のフェアトレード関係者70名が一堂に集い、地域のフェアトレード活性化を行うフォーラムを開催します。

###### 2) 「東海フェアトレードポータルサイト」作成

東海地域のフェアトレード情報満載のポータルサイトを作成するとともに、広告収入での運営を目指します。

###### 3) 生産者情報の整理

フィリピンの生産者の情報を、日本で伝えやすい形にまとめていきます。

#### 5、外務省NGO相談員

##### 今期の注目

- 出張相談員として各地で相談業務に努めます。

これによって、



日本のNGO全体の底上げを行います。

##### (1) 事業背景と概要

日本のNGOの組織強化や専門性の向上を目指し、外務省がNGO相談員制度を実施しています。その委嘱団体として、アイキャンはNGOの活動、設立、管理・運営など、市民やNGO関係者からの質問・照会に答えています。また国際協力への理解の促進のため、国際協力関係のイベント等において相談業務や講演を行う「出張サービス」も行います。

##### (2) 実施事務所

日本事務局

##### (3) 事業のパートナー

中部・北陸地域の市民、外務省

##### (4) 活動

###### 1) 相談業務

特に「一人ひとりのできること(ICAN)」を大切に海外開発事業やフェアトレード、国際理解教育、多文化共生、スタディツアーの長年の実施経験より、中部・北陸地域のNGOや学生、教育機関や行政、企業(CSR)、グループ、個人が取り組む際の幅広い相談に乗ります。

###### 2) 出張サービス

1月に敦賀市立粟野小学校(福井県)、2月にワンワールドフェスティバル(大阪)にて、出張相談を行います。学校や大規模のイベントに出かけて行くことで、地域のNGOの活性化を行います。

## 6、外務省NGOインターンプログラム

### 今期の注目

- インターンが組織の会計・財務制度について学びます。

これによって、



より高いプロジェクトマネジャーの資質を身につけます。

### (1) 事業背景と概要

近年NGOへの就職を希望する日本の若者が増加していることを背景に、外務省はNGOの若手人材の育成を支えるNGOインターンプログラムが実施しています。

アイキャンは昨年度に続き、このプログラムのインターン受入れ団体として参加し、実務を通じた学びの機会をインターンに提供しています。

### (2) 実施事務所

日本事務局、マニラ事務所

### (3) 事業のパートナー

インターン、外務省

### (4) 活動

#### 1) インターン研修

#### 育成内容

- 各ステークホルダーへの報告書作成能力
- 業務遂行、課題解決能力
- ロジカルシンキング→決断力
- 危機管理・リスク回避能力
- 弥生会計の入力レベルの会計能力
- JICA草の根(外務省連携無償)会計報告
- 異文化マネージメント能力(業務レベル)
- 英語・タガログ語語学力  
(ワークショップをファシリテートできるレベル)
- ネットワーキング能力
- ビジョニングの基礎 等

#### 2) 報告会

3月に東京の広尾にて活動報告会を行います。

---

#### ■ その他の活動に係る事業

リサイクルバザー等

#### (1) 事業背景

リサイクルバザーの実施

#### (2) 実施体制

日本事務局

#### (3) 事業のパートナー

日本の一般市民

#### (4) 活動

リサイクルバザーの実施